

いしのまきNN通信

Nougyou Nouson

トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。

営農再開したほ場の水稻生育状況



第35号の目次:

平成28年の春、東日本大震災からの復旧を経て6年ぶりの本格営農再開を果たした石巻市大川地区長面工区と東松島市奥松島地区洲崎の農地に、実りの秋が訪れました。

長面工区は、平成26年度に復旧農地の一部で水稻の試験栽培を行い、平成27年度には実証田6haで営農再開しました。

そして、平成28年度、同年4月に新たに作付された72haを合わせ、78haで本格営農再開しました。

収穫の結果、塩害の影響はほとんど見られず、10aあたりの収量は500kg近くとなりました。



▲石巻市大川地区長面工区 水稻の生育状況 (平成28年10月)

営農再開したほ場の水稻生育状況	1
農地集積戦略会議の開催	2
集落営農育成に関する研修会	
太陽光発電所起工式	3
「川前四地区」安全祈願祭	
田んぼの学校 2016	4
HPが新しくなりました	



▲東松島市洲崎地区 稲刈りの様子 (平成28年10月)

奥松島地区洲崎では、平成25年から「営農再開へ早期の見える復旧・復興」を目標に掲げた「奥松島地域営農再開実証プロジェクト」を進めています。

平成26年には水稻やソバ・大麦などが、平成27年度には大豆と水稻が、試験ほ場に作付けされました。そして、平成28年4月、復旧予定の80haのうち40haのほ場で営農再開しました。

こちらも塩害等の発生は見られず、10aあたり600kg近くの収量となりました。収穫結果の詳細は、平成28年12月27日に開催される「奥松島地域営農再開実証プロジェクト 収穫報告会」にて報告される予定です。

平成28年度 農地集積戦略会議の開催

ほ場整備事業に取り組む15地区を対象に、農地集積戦略会議を開催し、平成28年は7月14日から7月20日にかけて第1回目の会議を、11月1日から9日にかけて第2回目の会議を実施しました。この戦略会議は、県、市、JA、土地改良区、農業振興公社、土地連等の関係機関が一堂に会し、農地集積目標の達成に向けた課題の検討をする場となっています。

担い手が法人化を計画している地区については、手続きの進捗状況や設立時期、予定している経営規模等を聞き取りました。また促進計画上で目標年を迎えた地区については、平成28年の作付状況や集積見込の確認を行いました。戦略会議は、今年度3回の開催を予定しており、次回は3月に、担い手の出席を求めて開催する予定となっています。



▲河南矢本土地改良区における会議
(平成28年7月19日)



▲河北総合支所における会議
(平成28年7月20日)



▲鳴瀬庁舎における会議
(平成28年11月1日)

平成28年度 第1回大川地域復旧復興検討支援会議の開催

平成28年8月4日、大川地区現地ほ場や北上川沿岸土地改良区を会場に「平成28年度第1回大川地域復旧復興検討支援会議」を開催しました。

これは平成24年6月から続けてきた会議で、管内農業関係機関や担い手が集まり、これまで農地復旧のスケジュールや営農再開計画等を話し合ってきました。今年からは、新たに宮城復興局や石巻市復興政策部にも参加を依頼し、農地復旧だけでなく、地域振興・農業振興まで検討する場となりました。

天候に恵まれたこともあり、参加者40名は大川地区長面工区に石巻市が設置したオリーブ実証展示圃に集合し、今年春に定植した苗木の生育状況や栽培管理上の課題を聞きました。また昨年干陸化した長面3工区では、他の工事との連携状況や今後の工事スケジュール等について説明を受けました。

現地見学の後、北上川沿岸土地改良区に会場を移して総合検討を行い、長面工区で今年作付けした水稻78haの生育状況や地下水の塩分濃度の推移等の報告を受けるとともに、担い手である農業法人との意見交換を行いました。

農地整備事業に取り組んでいる大川地区長面工区の営農再開はまだ道半ばですが、今後も関係機関の連携を図りながら復旧・復興を確実に進めていきます。



▲オリーブの苗木



▲当部による事業概要説明



▲検討会の様子

東松島市野蒜地区 太陽光発電所起工式の開催

平成28年9月13日、この地区で太陽光発電所の起工式を行いました。当日はあいにくの雨模様でしたが、東松島市長をはじめ市、県、国の関係者、地元関係団体など約30名が出席しました。式では、東松島市長などからあいさつをいただいた後、当部から事業概要を説明し、最後に鍬入れを行い、式典の締めくくりとなりました。



▲式典の様子(平成28年9月13日)



▲鍬入れの様子(平成28年9月13日)



▲太陽光施設造成予定地

宮城県は、農村地域復興再生基盤総合整備事業(地域資源利活用施設整備)を活用してこの施設を整備しており、東日本大震災に起因する地盤沈下で増加した農業水利施設の維持管理費に売電収益を充当することで、農家の皆様の負担軽減を図ります。

施設に設置された4,676枚の太陽光パネルは、最大で毎時870kwの電気を発電することができます。また、設置場所として、東松島市が防災集団移転促進事業で取得した住居等の移転跡地2.6haを利用しています。

太陽光発電所の完成は平成29年3月で、4月から発電を開始する予定です。

農村地域復興再生基盤総合整備事業(農地整備事業) 「川前四地区」安全祈願祭を開催

平成28年11月9日、東松島市赤井の中区地区センターで、農村地域復興再生基盤総合整備事業(農地整備事業)「川前四地区」の工事着手に伴う安全祈願祭が開催され、県・市の関係者や地元関係団体など、約50人が出席しました。安全祈願祭は、祝詞奏上、四方祓の儀、鍬入れの儀、玉串奉奠、神酒拝戴の順に進行し、関係者一同で工事の安全を祈願しました。



▲式典の様子(平成28年11月9日)



「川前四地区」は、平成27年度に事業採択となった後、工事着工に向けた基本設計、実施設計、施工協議等を進めてきました。平成28年度から本格的な工事施工となり、本年度は17.7haで区画整理工事が行われます。

平成29年度以降の施工を合わせ、33.1haで区画整理・道路・用排水路などの整備が行われる予定で、平成32年度の事業完了に向けて、工事を進めて参ります。

◀農地整備施工エリア(赤色で着色された部分)

田んぼの学校 2016

東部管内では、土地改良区や多面的機能支払交付金活動組織などが協力し、小学生に対して農業に関する体験学習等を行っています。

平成28年9月2日、「須江ふるさと保全会」協力のもと須江小学校5年生35名を対象に農業水利施設見学会を実施しました。中山揚水機場や曾波神排水機場などを見学し、児童たちのみならず先生方も土地改良の技術に驚いていました。9月9日には、「北村ふるさと保全会」協力のもと5年生15名を対象に水質調査・生きもの調査を行いました。台風のため予定していた水路での調査はできませんでしたが、地元の方の協力もあり室内で調査を実施することができました。なお、両日とも河南矢本土改良区の協力をいただき、当部も出前講座担当として出席しました。

10月20日には、5月に田植えをした田んぼで前谷地小学校5年生が稲刈りを行いました。児童、学校の先生、地元農家、当部と一緒に、手作業での稲刈りと棒がけ作業を行いました。児童たちは徐々に鎌の使い方のコツをつかんでいき、怪我もなく無事に稲刈りを終えることができました。



▲中山揚水機場内を見学
(須江小学校5年生)



▲教室内で生きもの調査を行いました
(北村小学校5年生)



▲稲刈りの様子
(前谷地小学校5年生)

宮城県公式ホームページが新しくなりました

平成28年12月1日から、宮城県公式ウェブサイトが新しくなりました。

主な変更点として、レイアウトが変更され、翻訳機能の対応部分が増加しました。また、スマートフォンからでも閲覧しやすい環境となったほか、FacebookやLINEなどのアプリとも連携しています。

さらに、宮城県総合防災情報システム「MIDORI」との連携により、防災情報がリアルタイムで確認できるようになりました。



従来のホームページに比べ、より身近で利用しやすいウェブサイトとなりましたので、是非ご覧ください。

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部

(編集：農村振興班)

一日も早い災害復旧と
地域復興をめざして

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 489 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>